

9 RECORDS

[9レコード]

topSkills



MAX1000馬力超のシェルビーGT500でD1グランプリやドラッグレースなどに参戦。ストック状態のノーマル車でもチューニングカーでもどんな車両でも最適な状態にセッティングしてくれるインポートカーチューンのプロショップを紹介しよう。

ECUリセッティングを得意とするチューニング専門店

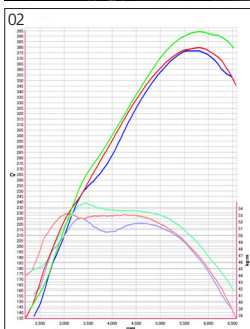
「愛車をサーキットで速く走らせた」「ドラッグレースでタイムを詰めたい」「高速道路をハイペースで巡航したい」「ワインディングを楽しく走りたい」「もっと燃費を良くしたい」etc. 愛車に手を入れる(チューニングやカスタムする)際の目的はオーナーごとに違えど、現代のクルマの場合、性能を向上させるための手段の仕上げとしてECUのリプログラミングが重要である事には変わりはない。

パワーアップ系のチューニングと聞くと、多くの人はエアクリーナーやスロットルボディなどの吸気系、ヘッドス、キャタライザー、マフラーなどの排気系、プラグ、プラグコード、コイルといった点火系のパーツを社外品に交換するライトチューンや、ターボチャージャーやスーパージャーチャーを装着(または交換)する過給器系のチューニングを思い浮かべると思う。

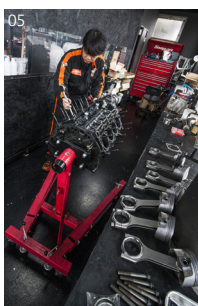
確かにそういったパーツ交換系のチューンを施す事で一定の効果は期待出来る。しかし、変更したパーツとECUのデータのマッチングが悪ければ、パワーアップどころか最悪の場合ノーマルよりもパワーダウンしてしまう事も少なくない。

ナインレコードでは、ストック状態のノーマル車でも、吸排気系中心のライトチューン車両でも、さらにはエンジン本体にまで手を加えた本格的なチューニングカーでも、そのクルマのECUを最適な内容にリプログラミングしてくれる。単純にパワーを上げるだけではなく、目的に応じて壊れずに楽しめるクルマに仕上げてくれる。それがナインレコードというプロショップなのである。

もし読者の中に「愛車のベスト状態を知りたい」あるいは単純に「もっとパワーが欲しい」という人がいれば、ナインレコードに相談してみるといいだろう。

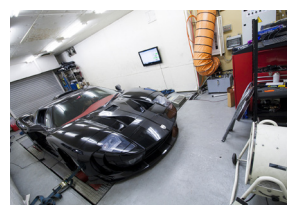


01.ナインレコードでECUをリセッティングする際は、常時4輪をシンクロ回転させる(特許)ESSシステムを採用した『DIM-TECH社製DYNORACE』というローラー式シャシーダイナモメーターでパワー計測を行いながら作業を行う。02.セッティングの前後での最大パワー&トルクや出力特性をグラフにしてオーナーに説明してくれる。



03.ナインレコードのデモカーであるシェルビーGT500は、エンジン本体はノーマルのままで最大出力957.2ps/7121rpm&最大トルク112.0kg-m/4977rpmまでパワーアップしている。04&05.ナインレコードはコンピューターチューン専門店ではない。足回りやシャシーのセッティングはもちろん、エンジン本体にまで手を入れる事ができるチューニングのプロショップだ。

[9レコード合同会社/株式会社アジト]



最近ではアメ車のチューニングに力を入れているが、国産車はもちろん欧州車のチューニングにも対応してくれる。チューニング後のアフターフォローも万全のプロショップだ。
埼玉県加須市愛宕2-4-36
営業時間=9:00~19:00 定休日=月曜日
tel.0480-48-7157
<http://9records.jp>
<http://9records.net>